

兵庫県立がんセンター

腫瘍内科

指導担当医（役職）

尾上 琢磨（医局長）、松本 光史（科長）

実習概要

実習コース

2週間コース・4週間コース どちらも可

概要

当科は、臓器横断的な、がん薬物療法を担当しています。

あらゆる固形がんを診療対象としていますが、乳がん、婦人科がん、泌尿器がん、頭頸部がん、原発不明がん、メラノーマ、肉腫、希少がん等、他の一般的な内科では診る機会が少ない疾患も、幅広く守備範囲としていることが特色といえます。

実習期間は、当科のチームの一員として、入院・外来診療や、院内の様々なカンファレンスに参加していただきます。固形がんに対する薬物療法の基本的な考え方を学んでいただくとともに、外科系診療科・放射線科・病理診断科等、他科との連携や、がん緩和ケアの実際にも触れていただけるよう、様々な機会を設けるようにしています。

また、外来化学療法センターは当科が主体となり運営しているため、看護師とのチーム医療を肌で感じていただけます。加えて、ゲノム外来や遺伝外来等の先進的な専門外来の見学や、AST/ICT活動・AYAがんサポートチーム活動・irAEラウンド等の、多職種的なアプローチも経験していただけます。

学生の皆様ごとに、各々の希望やニーズに合わせて、できるだけ柔軟に対応するように致します。

実習スケジュール（あくまで1例）

月曜：オリエンテーション・入院患者病棟対応同席・ゲノム外来見学・肉腫/骨転移カンファレンス

火曜：乳腺カンファレンス・入院患者病棟対応同席・AST/ICT活動見学

水曜：腫瘍内科外来同席・遺伝外来見学

木曜：乳腺カンファレンス・腫瘍内科外来同席・腫瘍内科多職種カンファレンス・エキスパートパネル

金曜：入院患者病棟対応同席・ゲノム外来見学・遺伝外来見学

上記に加え、マンツーマンの様々なレクチャー(総論・各論)も行います。

学生へのメッセージ

腫瘍内科は、我が国の現状では未だ扱える疾患に施設ごとのバラツキがあったり、また、腫瘍内科でしか体験できない手技、というのはあまりないため、もしかすると、学生の皆様には具体的な魅力が伝わりにくい診療科かもしれません。

しかし実際には、希少がんまで含めて多彩な疾患を扱い、また、日進月歩のがん薬物療法の臨床研究も多く経験でき、日々飽きることのない、刺激的な診療科です。

そして何より、最も手ごわい病である「がん」を罹患され、絶望の淵にいらっしゃる患者様の「Patient Journeyに、もっとも近くで、かつ、もっとも長く寄り添う」ことのできる、本当にやりがいのある、専門性の高い診療科である、と自負しています。

実習期間を通じて、既述の様々な知識とともに、医療面接・他のスタッフとのコミュニケーション方法・プレゼンテーションスキル等、卒業後、どの様な針路を取られても、社会人・医師として役立つ様な成長をしてもらえるよう、心がけています。

また、もしご希望があれば、自由参加の「お食事会・飲み会」という名のOff-the-Job Trainingで、肩ひじ張らず、初期研修先や医師・腫瘍内科医としてのキャリアプラン・試験対策等の相談にも乗りたいと考えています。

もともと腫瘍内科に興味があった方も、そうではなかった方も大歓迎です！

是非、実習先として、当科をご検討下さい！